

仏教学部

2026

文化
を探り、
ジブ
に出会う。



どこにもない学びが、それぞれの未来につながっていく。

仏教学部で身につけるのは「いまを生きる教養」

グローバル化や情報化が社会にひずみを生み、世界のあちこちで文明・文化の衝突が起こる現代。仏教学部の学びには、こうした難問を解決するヒントが詰まっています。仏教の叢書が教えてくれるのは、自己も他者も尊重することの大切さと、どんな未来にもつながる普遍性を備えた「いまを生きる教養」です。



立正大学仏教学部入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

仏教学部では、学部の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

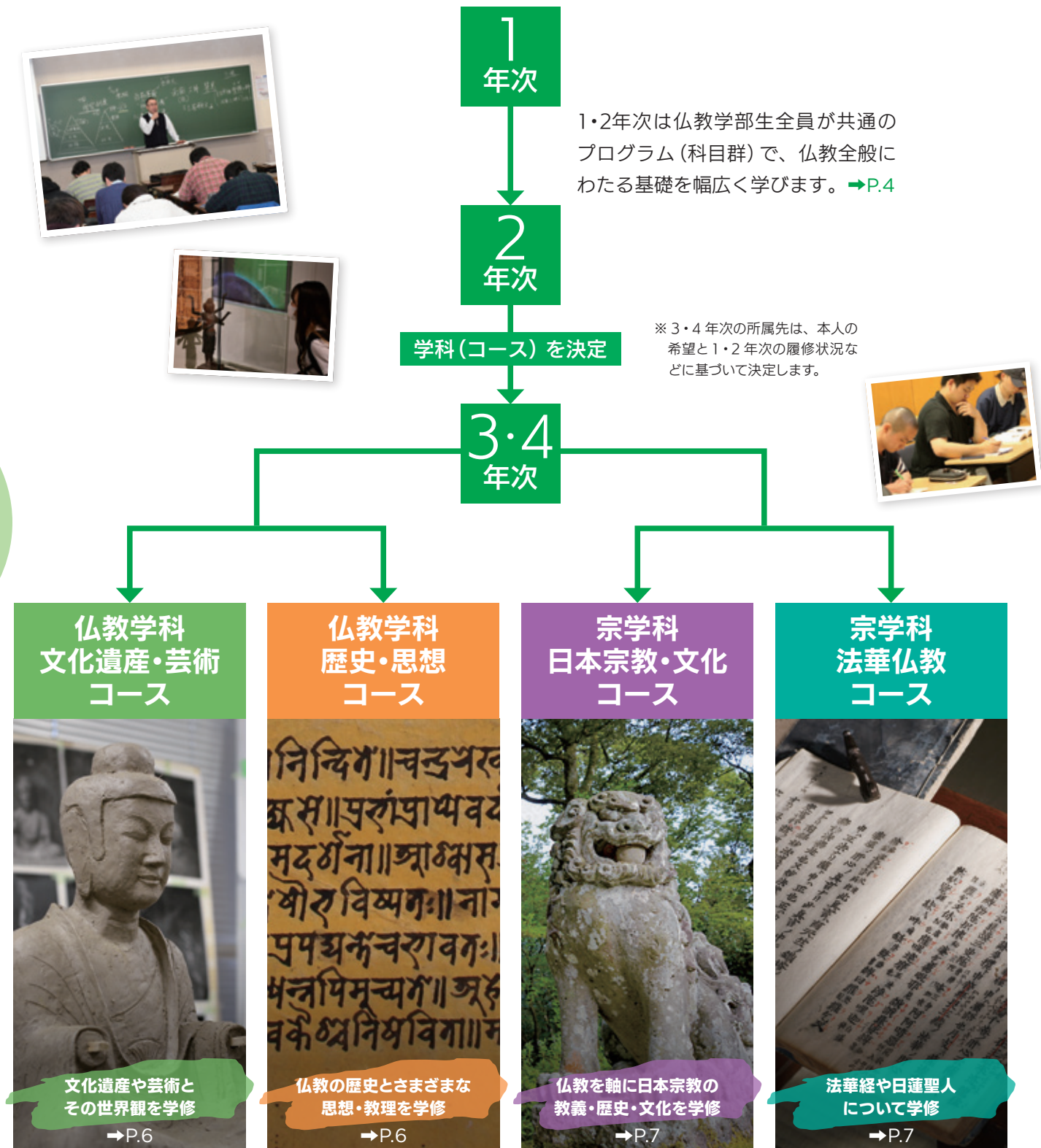
- 1 正義を尊ぶ高い倫理観を持ち、仏教を通じて自己形成と社会貢献を志している者
- 2 仏教を中心とした歴史・思想・文化・芸術・宗教などに深い関心を持っている者
- 3 学問に対する向上的意志を有している者



立正大学に住み着いて、仏教に縁のある人の前に現れる白い妖精「ブッタン」。仏教学部の卒業生が創り出した、みんなに愛されているキャラクターです。

入学後、3年次進級の時に学科(コース)を決定。

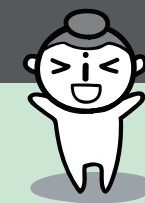
多様性を備えた仏教学部の学びの中から、本当に自分が学びたい分野・テーマを見出すため、1・2年次は仏教全般にわたる基礎を幅広く学びます。そして、3年次進級の際に学科(コース)を決定し、専攻分野の学びを深めていきます。新しい学びの形の中で、あなたの未来を見つけてください。



1・2年次の学び

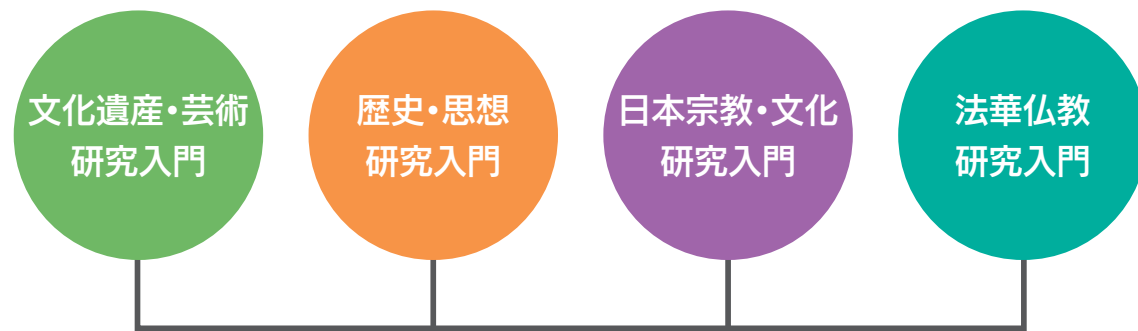
学びの楽しさを知り、さまざまな出会いを通じて視野を広げる。

高校時代とは異なる学修への取り組み方を修得。多様な視点から仏教全般にわたる基礎知識を身につけ、原典講読に必要な古文・漢文のスキルも磨きます。

研究
入門3年次進級時のコース選定に役立つ
4つの「研究入門」科目を開設しています。

3年次進級時の学科(コース)決定を見すえた導入科目として、1年生に向けて各コースの名称を冠した4つの「研究入門」科目を開設し、各コースにおける学びの内容や特色、研究法について丁寧に解説します。「このコースではどのようなことを学ぶの?」といった疑問の解決と、多様性ある仏教学部の学びの中から、自分が本当に学びたい分野・テーマを見出すことが、科目開設の狙いです。

● 1年次必修科目



● 3年次進級時

学科(コース)を決定

新たな生活・新たな学びへの不安を解決！

新入生オリエンテーション

チームで取り組むユニークなイベントも導入。

入学後すぐに開催される新入生オリエンテーションでは、学部の先輩たちと交流を深めるグループワークに加えて、暗闇の中で視覚以外の感覚を使ってさまざまな体験をする「ダイアログ イン ザ ダーク」を実施。仲間と協力して課題に取り組むことで、自然に一体感が生まれお互いを知りきっかけにもなります。学部を挙げて新入生を迎える温かな雰囲気が仏教学部の特色であり、スムーズな学生生活のスタートにつながります。



チューター制度

学部の先輩・大学院生が学生をサポート。

仏教学部では、学生一人ひとりの学修・生活をサポートすることを目的に「チューター制度」を導入しています。学部の先輩や大学院生が「チューター」として仏教学部懇談室に常駐し、「レポートを書きたいが、何から始めればよい?」「読んでおくべき本は?」「勉強とサークル活動を両立するにはどうすればよい?」など、身近な疑問・質問に答えます。懇談室のドアは常にオープン。入りやすい雰囲気が新入生にも大好評です。

学修の
基礎少人数制の講義や演習で
専門教育の土台を作ります。

さまざまな
学生との出会いが
自分の個性に気づく
きっかけに

丹治恭子 教授

仏教学部の新入生全員が受講する「学修の基礎」は、大学生活への適応と専門教育へのスムーズな移行を目的にしたカリキュラムです。少人数制の講義や演習で、学生たちは活発に交流しながら、コミュニケーションスキルとアカデミックスキルを身につけていきます。

授業紹介動画も
ご覧ください！

アジア
美術史アジア各地の美術や建築に着目し、
その文化的背景を探ります。

各地の歴史や
文化に触れることで、
新たな気づきが
得られます

久保真紀子 准教授

インドで生まれた仏教やヒンドゥー教が各地にどのように伝わったか、東南アジアの美術や建築に焦点をあてて学びます。寺院建築に施された装飾浮彫、あるいは寺院内に祀られた尊像に着目し、それらの表現にみられる特徴と成立背景について理解を深めます。

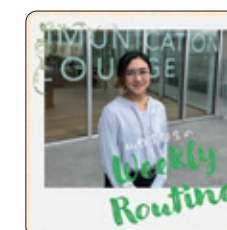
授業紹介動画も
ご覧ください！



その他の1・2年次主要科目

- 文献読解基礎演習
- 仏教研究基礎
- 中国文化概論
- 日本文化概論
- サンスクリット語初級
- 芸術実習基礎
- インド仏教史概論
- 仏教学概論
- 日本仏教史概論
- 日蓮聖人伝 など

仏教学部生のWeekly Routine



続きは
Instagramで

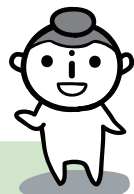
文化遺産・芸術コース

仏教の智慧と“文化”の捉え直しをとおして、現代社会を生きる力を身につけます。

多彩で個性的なアジア各国の文化を、ほかの文化圏との比較の視点に立ち学んでいきます。アジアにおける文化・芸術のルーツの一つである仏教について、精神性や時代背景も含めて総合的に学修し、さらに理解の一助として美術作品の制作にチャレンジすることもできます。

【学びの領域】

- アジアの精神文化
- 南・中央・東・東南アジアの仏教美術・仏教建築
- 異文化の検証(ヒンドゥー教・儒教ほか)
- 日本の仏教文化
- 文化財の維持・継承
- 仏像・仏画の制作実習



仏教学部生のWeekly Routine

続きは Instagramで

学科コース選択体験談

続きは Instagramで

※所属コース名は取材当時のものです。

歴史・思想コース

世界の異なる歴史や思想を多面的に学び、ものごとの本質を理解する力を育みます。

約2500年前のインドで生まれ、日本を含むアジア各地、さらに世界へと広まっていった仏教。自己と他者を理解し、いかに受け入れるかを説く仏教の本質は、どういった経緯をたどり大成されたのか。その歴史的な流れと、仏教を形づくるさまざまな思想・教理を学んでいきます。

【学びの領域】

- 原始仏教の思想
- 部派仏教の教理
- 大乘仏教の思想
- 仏教の発祥と展開
- 仏教と他宗教の思想を比較検証
- 文献・史料の読み方
- 多言語の学修(サンスクリット語、チベット語ほか)



仏教学部生のWeekly Routine

続きは Instagramで

学科コース選択体験談

続きは Instagramで

※所属コース名は取材当時のものです。

日本宗教・文化コース

宗教や文化をとおして、日本社会が抱える問題について考える力を身につけます。

発祥の地インドから西域を経てもたらされた仏教は、日本の習俗や宗教に影響を受けつつ、「日本仏教」を形成しました。さらに新たな習俗を生み出し、私たち日本人の精神に深く根ざしています。日本の歴史や文化を知るために、日本仏教を中心とした宗教の歴史・思想を理解していきます。

【学びの領域】

- 日本仏教の歴史的展開
- 日本の宗教史
- 宗教と日本文化
- 仏教各宗派の教義
- 現代社会と日本の宗教



仏教学部生のWeekly Routine

続きは Instagramで

学科コース選択体験談

続きは Instagramで

※所属コース名は取材当時のものです。

法華仏教コース

日蓮聖人の思想や行動をたどり、法華経の教えを自ら実践しながら受け継ぐ担い手を育成します。

立正大学建学の精神であり、現代社会の実現すべき課題ともいえる「真実」「正義」「和平」。この3つの信条に忠実であろうと数々の試練に耐え、人々の救済に尽くした日蓮聖人の生涯、および日蓮思想の源流である法華経を探究していくことで、他者を思いやり、教えを実践できる精神性をはぐくんでいきます。

【学びの領域】

- 日蓮聖人の著作・手紙の学修
- 法華経の学修
- 日蓮教団の成立と展開
- 仏教の総合的な理解
- 21世紀社会と法華仏教のあり方



仏教学部生のWeekly Routine

続きは Instagramで

学科コース選択体験談

続きは Instagramで

※所属コース名は取材当時のものです。

国内外のさまざまな文化を体験する人気のカリキュラム。

国内仏教文化研修

岩手——みちのくの仏像と宮沢賢治の信仰

(2024年度実施)

「みちのくの仏像」とともに宮沢賢治の足跡を訪ねることをテーマに、東北地方の寺院や施設を巡りました。二戸の天台寺にて桂泉観音として著名な尊像や成島の毘沙門天像などを拝観するとともに、宮沢賢治ゆかりの寺院や記念館を巡りました。世界遺産に登録されている「平泉文化」を象徴する中尊寺と毛越寺も訪れました。



海外仏教文化研修

ネパール——釈迦の故郷とカトマンズの神々を巡る旅

(2024年度実施)

ネパールの研修では、釈尊生誕の地ルンビニーや、カピラ城跡と推定されているティラウラコット遺跡、アショーカ王石柱等、仏教の故地を見学しました。また、ネパール最古の仏教寺院といわれるスワヤンブナートなどを見学し、充実した研修となりました。



その他過去の訪問地 ●本行寺、根本寺、世尊寺、妙照寺【新潟県(佐渡)】●仁徳陵古墳、飛鳥寺、橘寺、法華寺【大阪府・奈良県】●比叡山延暦寺、神護寺、教王護国寺(東寺)【京都府・滋賀県】●富貴寺、白杵大仏【大分県国東半島・福岡県】●願成就院、修禪寺、南禅寺【静岡県(伊豆)】●アカデミア美術館、メディチ家礼拝堂【イタリア】●シギリヤロック、タンブッラ石窟寺院【スリランカ】●アンコール・ワット【カンボジア】●ポロブドゥール【インドネシア】●五臺山、天台山【中国】●アクロポリス遺跡、デルフィ遺跡【ギリシャ】●エフェソス遺跡、カッパドキア石窟群【トルコ】

仏教学部生のリアルボイス



立正大学仏教学部の学生に聞いてみました



学生トーク



卒業制作プロモーションムービー



情報満載! 公式SNSも要チェック!

仏教学部公式X



仏教学部公式 Instagram



仏教学部公式 YouTube



就職支援

未来の自分を思い描き、行動するきっかけに

入学時から学生に寄り添い、新しい学びや生活への不安解消に向けて力を尽くす仏教学部の姿勢は、キャリア設計の場面でも貫かれています。2014年度からは、2年次の学生を主な対象に「キャリアパスガイダンス」を開催。2020年度からは、こうした仏教学部独自の取り組みをより早期化し、回数を増やすことで一層の充実を図っています。仏教学部で学ぶすべての学生が、自分らしい夢を描き、未来を手にもすることも仏教学部の人材育成の目標の一つです。



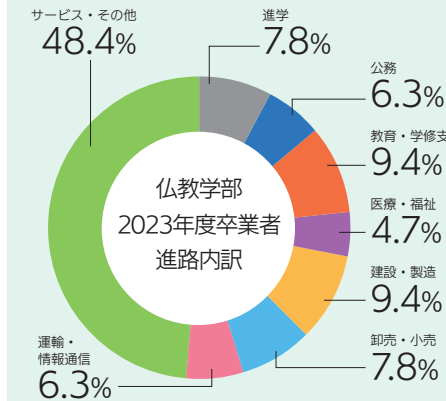
仏教学部キャリアパスガイダンスの実施内容 (2025年度は全3回実施予定)

第1回(3月下旬)：キャリアサポートセンター職員の講話
※SPI模擬テスト体験、立正大学キャリアサポートセンターの利用方法やセンター主催行事の案内

第2回(7月下旬)：キャリアカウンセラーによる講演
※自己分析について

第3回(10月下旬)：上級生や卒業生の体験談とグループワーク
※上級生や卒業生の進路選択や就職活動の体験談を聞き、グループに分かれて自由に議論

卒業生の進路



主な就職先：

寺院・僧職、東京都教育委員会、防衛省 陸上自衛隊、八千代市役所、秋田市消防本部、株式会社昭栄美術、東京美装興業株式会社、株式会社アズパートナーズ、株式会社ベネッセスタイルケア、大成建設株式会社、藤田観光株式会社、株式会社日本旅行、東邦電子株式会社、フジパンググループ本社株式会社、株式会社学研ココファン、株式会社I DOM、東邦ホールディングス株式会社、株式会社システムディ、アパホテル株式会社、株式会社アドレクス ほか

仏教学部で取得可能な免許・資格

- ①**中学校・高等学校教員**：中学校「社会」「宗教」、および高等学校「地歴」「公民」「宗教」の教員免許を取得できます。
- ②**博物館学芸員**：展示や保管、資料の収集、研究などに携わる専門職です。
- ③**社会福祉主事**：地域社会で自立サポートなどの援助活動を行う専門職です。
- ④**図書館司書**：公立・市立図書館において、収集や分類、貸出などに携わる仕事です。
- ⑤**僧侶**：日蓮宗の僧侶に求められる知識・行動を修得することを目的に設置した仏教学部独自の資格課程「僧階講座」の履修が必要です(僧侶としての認定を受けるには一定の条件を満たす必要があります)。
- ⑥**その他**：学校図書館司書教諭、社会教育主事、社会教育士

私の進路選択



卒業生に聞いてみました



仏教学科
思想・歴史コース

広い視野から現状を捉える力が、精神的な強さにつながっている。

高校生のころ、倫理の授業で触れた東洋思想に強い興味を抱き、仏教学部に進学することを決めました。大学の授業では「仏教史特講」が特に印象に残っています。仏教で最も重要な教えの一つである「空」の思想の変遷に、知的興奮を覚えました。また、三論宗の嘉祥大師吉蔵について学びましたが、苦手だった歴史も思想ベースで学ぶとすんなり頭に入ったことが衝撃的でした。先生方にはいろいろな質問をしましたが、聞けば聞くほど謎が深まり、知れば知るほど自分の無知が暴かれるため、仏教思想の奥深さに感服する毎日でした。現在は、自治体向けのソフトウェア開発を行っている企業でSE(システムエンジニア)として仕事をしています。コンピューターのプログラミングと仏教はだいぶ距離があるように思われるかもしれませんが、激務が続いたときなどは、仏教学部の学びが精神的な面でとても役立っています。輪廻転生の概念からも分かるように、仏教はマクロな視点からものごとを分析することが多いと思います。仏教学部での4年間の学びは、そんな広い視野があることを私に気づかせてくれました。同時に、自分の現状を客観的に判断する力や、精神的な強さも身につけてくれたのではないかと考えています。



宗学科
日本仏教コース

仏教学の広さと深さを知り、冠婚葬祭に関わる企業に就職。

高校3年のときに立正大学の大学案内を見て、仏教学部のカリキュラムに「仏教デス・エデュケーション」という科目があることを知って興味がわき、いろいろ調べて志望を決めました。人間は必ず死を迎える存在ですが、「仏教デス・エデュケーション」は仏教における死との向き合い方を学び、現代社会における死について考える授業です。私は以前から死生観に関心があったため、とても考えさせられました。大学4年間の学びを通して仏教学の広さと深さを実感し、未知の世界を知ることができました。このような経緯から、冠婚葬祭に関わる事業を幅広く展開する企業に入社し、事業部の運営企画にも携わっています。仕事ではさまざまな人に接する機会が多く、中には苦手なタイプの時もありますが、それもその人の個性だと思えるようになったのは、仏教学部で学んだ4年間があったからだと感じています。



仏教学科
文化・芸術コース

仏教学部の学びが、カメラマンとしての仕事に役立っている。

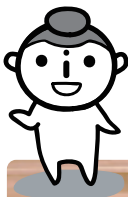
高校生のころは仏像鑑賞が趣味で、どうしても仏像を作ってみたかったのですが、立正大学仏教学部の秋田ゼミでは卒業制作として仏像や仏画を制作すると知って、志望を決めました。仏教学部は、実習を含めた美術面での学びが充実しているのが魅力だと思います。また、実習以外でもっとも興味深かったのは、3年次に履修した「比較宗教文化論」です。仏教と他の宗教の相違点や類似点を比較しながら理解していくのが面白く、おかげで世界のニュースに対する理解度も上がった実感がありました。卒業後は、成人式やウェディングの振り袖やドレスなどのレンタルサービスをメインに全国展開している企業に就職し、カメラマンとして仕事をしています。いい写真を撮るために重要なのは、被写体の表情やポーズ、そして画面の構図です。大学のゼミで仏像を作った経験は、被写体であるお客様にポーズをつけたり、画面全体の空間把握にとっても役立っています。また、カメラを構えながら、仏教学部で学んださまざまなことをお話しすると、お客様に興味を持って聞いていただけるので、会話が弾んで緊張感が解け、素敵な笑顔を見せてくださいます。



宗学科
法華仏教コース

僧侶として生きていく上で、根幹となる重要な部分を学んだ。

私は寺院で生まれ育ち、仏教が常に身近であったものの、仏教の知識や教えを何も知らなかったため、仏教学部を志望しました。大学では、先生方が一人一人の学生と真剣に向き合い、それぞれの個性に応じて熱心な指導をなさっている姿に心を打たれました。悩みの尽きない人生に、仏教をどのように生かしていくか。人々をどのように幸せにできるか。僧侶として生きていく上で根幹となる重要な部分を、仏教学部で学ぶことができました。また、仏教や日蓮聖人の教えを多角的な視点から学ぶことができたのも、仏教学部の特徴の一つだと思います。キャンパスは都心にありながら静かで、整備された環境で4年間を過ごすことができました。現在は、僧侶を志す立正大学の学生のための学寮で、副寮監として仕事をしています。僧侶として、人として一番大切な心を育てていく立場にあり、日々誠心誠意学生に向き合い、少しでも良い方向に向かってくれることを願っています。指導の場で私がお手本としているのは立正大学の先生方です。お釈迦様や日蓮聖人の精神を受け継ぐ立正大学では、人の心に寄り添った指導をしていただきました。これからは、私とその精神を学生につないでいきたいと考えています。



インタビュー動画も
ご覧ください



※所属コース名は取材当時のものです。

TOPIC 1

注目！

「立正大学仏教学部寄付基金奨励金」

金額：1名につき30万円

返還の必要なし！

立正大学仏教学部では、仏教学部卒業生を中心とした、本学部の教育・人材育成に共感しご支援いただいた寄付金を基金とした「立正大学仏教学部寄付基金奨励金」制度を設けています。

入学後、自らの夢や目標をしっかりと持ち、仏教学部での学びを通じて、その実現に向かって日々努力を重ねる新入生に、奨励金による経済的支援を行います。



詳しくは
ホームページを
ご覧ください！



TOPIC 2

仏教学部生の満足度は 学内トップクラス！

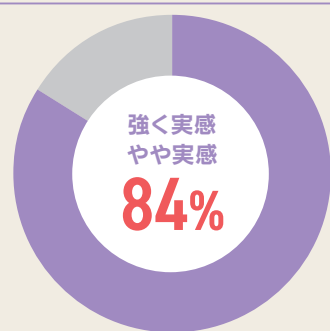


在学生の声【2023年度の学生意識調査(3年生対象)】

出典：株式会社ベネッセキャリア
「2023年度GPS-Academicご報告(抜粋)」

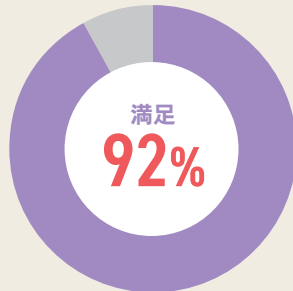
成長実感

大学教育・学生生活への満足度



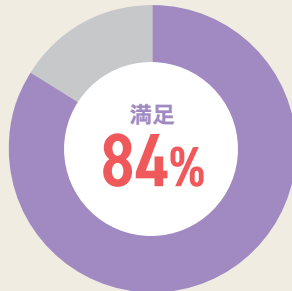
「強く実感する」学内1位

授業内容



学内1位

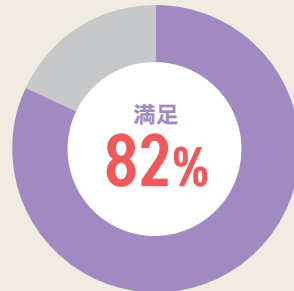
カリキュラム



学内4位

※うち25.8%が「とても満足」と回答(学内1位)

キャンパス環境・学生サービス



学内1位

立正大学 仏教学部案内 SALA 2026

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

電話：03-3492-8528 E-mail：bst@ris.ac.jp

仏教学部オリジナル・ホームページ

<https://bukkyo.rissho.jp/>

